

平成25年度事業の概要

平成25年2月
門真市



(目 次)

区分		ページ
基本目標1	みんなの協働でつくる地域力のあるまち	2
基本目標2	将来を担う子どもが育つ教育力のあるまち	5
基本目標3	安全・安心で快適に暮らせる明るいまち	11
基本目標4	いきいきと人が輝く文化薫るまち	18
基本目標5	健やかな笑顔あふれる支えあいのまち	21
基本目標6	環境と調和し、産業が栄える活力のあるまち	25
その他(施策評価対象外事業)		30



は主要な重点施策

幸福度の向上

基本政策	基本施策	番号	区分	事業名	事業概要	所属課	予算額
市民のまちづくりへの参画を促す環境をつくれます	広報・広聴活動の充実	1	継続	広報紙発行事業（市民特派員の派遣）	市民の中から門真市広報市民特派員を募集し、特派員となった市民に地域の行事や話題等を提供してもらい、広報紙等で地域情報を発信する。	秘書 広報課	4万1千円
	行政情報の積極的な提供	2	新規	議会インターネット中継事業	市民の議会と市政への関心・理解を高めるため、迅速性にすぐれたインターネットを活用し、市ホームページで本会議の録画配信を行う。	議事課	184万8千円
	自治活動の活性化	3	継続	自治会館建設支援事業	自治会が実施する自治会館の建設工事に伴い、補助率にしたがって限度額の範囲で補助金を交付する。	地域 活動課	300万円
	市民公益活動の促進	4	継続	人・まち元気事業（講座・市民大学）	協働によるまちづくりを推進するため、市民の市政や地域活動、まちづくりへの関心を高め、協働の意識を醸成することを目的に、職員が講師として出向き講義を行う出前講座、テーマごとに短期集中型で学ぶ市民講座、専門的な知識を得ることができる市民大学を実施する。	公民 協働課	83万2千円
		5	継続	市民公益活動事業補助事業	NPO法人等の自発性と創意工夫でもって公民協働を推進し、多様な市民ニーズに対応する市民公益活動を活性化すべく、市民公益活動事業補助金を交付する。	地域 活動課	411万5千円
		6	継続	地域通貨発行運営交付金事業	地域通貨「蓮」を発行、運営をする、特定非営利活動法人(公益活動団体)に交付金を交付する。	地域 活動課	680万1千円

基本政策	基本施策	番号	区分	事業名	事業概要	所属課	予算額
市民に信頼され、協働まちづくりを先導する市役所をつくります	計画的な執行管理	7	新規	第5次総合計画進行管理事業 (総合計画の改訂)	社会情勢等の変化に的確に対応し、本市を取り巻く実情により即した行政運営を進めるために、平成21年度に策定した「門真市第5次総合計画」の改訂作業を実施する。	企画課	1万6千円
		8	継続	第5次総合計画進行管理事業 (施策評価委員会の実施)	第5次総合計画の各施策における進行状況を評価(Check)し、評価結果をもとに施策の改善(Act)を図るPDCAサイクルの仕組みを構築し、第5次総合計画の進行管理を行うため、6名の学識委員による施策評価委員会及び公募市民が参画するワーキンググループによる意見交換を実施し、施策評価を行う。	企画課	61万9千円
		9	継続	第5次総合計画進行管理事業 (「市民ご意見番」制度の実施)	市民ニーズに応じた的確な事業展開を図るために、公募市民を「市民ご意見番」として位置付け、生活者の視点による事務事業評価を行ってもらい、結果を事業見直し等に活用する。	企画課	335万円
	電子自治体の推進	10	継続	ICTアドバイザー配置事業	戦略的なIT推進を図るため、広範な意思決定アドバイスを行うICTアドバイザーを配置する。	企画課	180万5千円
	都市間連携の強化	11	継続	広域連携推進事業	大阪市及び大阪市に隣接する都市並びに北河内地域7都市間の連携による広域行政の推進を図り、住民福祉の向上を図る。	企画課	9万4千円

【事業概要】

協働によるまちづくりを推進するため、市民の市政や地域活動、まちづくりへの関心を高め、協働の意識を醸成することを目的に、職員が講師として出向き講義を行う出前講座、テーマごとに短期集中型で学ぶ市民講座、専門的な知識を得ることができる市民大学を実施する。

**総事業費
832千円**



基本政策	基本施策	番号	区分	事業名	事業概要	所属課	予算額
安心して産み、育てることができる子育て支援のまちをつくります	子育て支援環境の充実	1	継続	奨学金事業	向学心に富みながら、家庭の経済状況等で就学困難な高校生のために奨学金を支給する。25年度からは、論文及び面接により選考し、支給決定をする。	学校教育課	544万5千円
		2	継続	養育支援訪問事業	養育支援が特に必要と判断した家庭に対し養育支援訪問員が、家庭訪問し当該家庭の適切な養育の実施を図る。	子ども課	96万4千円
		3	継続	こんにちは赤ちゃん事業	生後4か月を迎えるまでの乳児のいる家庭を全戸訪問し、子育ての悩み等を傾聴し、子育て関連の情報提供を行うとともに、支援が必要な家庭へ早期に対応し、子どもの健全な育成環境の確保を行う。	子ども課	228万4千円
		4	拡充	病児保育事業（定員・対象の拡充）	保育所等に預けることが困難な病気の児童を病院等に併設された施設で保育することにより、保護者の子育て支援の拡充を図る。	子ども課	1,326万2千円
		5	継続	保育所等発達支援事業（巡回支援）	集団保育の中で障がいのある子どもや発達障がい、発達上の支援が必要な子どもなどがのびのびと生活ができる環境づくりや保護者支援等を行い、もって児童の福祉の向上を図る。	子ども課	424万7千円
		6	継続	保育所等発達支援事業（障がい児支援強化研修）	保育所等における適切な障がい児支援機能を強化するため、保育士及び看護師への研修を強化し、適切な療育等を行う能力の向上を図る。	子ども課	15万3千円
			7	新規	認可外保育施設利用者補助事業	保育所の補完的な役割を果たしている認可外保育施設を利用する保護者の負担を軽減するため、保育料補助金を交付する。	子ども課
							5



基本政策	基本施策	番号	区分	事業名	事業概要	所属課	予算額	
安心して産み、育てることができる子育て支援のまちをつくりま	母子保健の充実	8	継続	妊婦健康診査公費負担拡充事業	妊婦の方々の健康管理の充実及び経済的負担の軽減を図るため、妊婦健康診査受診費用の一部を助成する。	健康増進課	7,326万8千円	
			9	拡充	乳幼児等医療助成事業（対象者の拡充）	現在、小学校3年生年度末までの乳幼児等を対象に入・通院にかかる医療費の一部を助成しているが、入院にかかる医療費の一部助成の対象を中学校就学前（小学校6年生年度末）まで拡充するとともに、「こども医療助成」に名称変更する。	子ども課	300万円
		10	継続	未熟児の届出受理及び訪問指導事業（未熟児教室）	出産後における、産婦の心身の状態や未熟児の健康状態を把握するため、保健師等が訪問指導を行う。また、保護者同士の交流を図るための「未熟児教室」を、保健福祉センターにおいて定期的に開催する。	健康増進課	50万円	
	援助が必要な家庭の支援	11	新規	オレンジリボンキャンペーン等啓発事業	児童虐待防止の広報啓発活動として、広く市民に周知啓発するための講演会を開催する。	子ども課	500万円	
	子どもの安全な暮らしづくり	12	継続	子どもの安全見守り事業（スクールガードリーダーの拡充）	登下校時における児童・生徒の安全確保や非行防止のため、警察官OB 3名をスクールガードリーダーとして本市から委嘱し、校区巡回を行うとともに、各校やキッズサポーター等の指導及び街頭指導を行う。	地域教育文化課	169万6千円	
	みんなで支える子育て環境づくり	13	継続	キッズ・カーニバル事業	親子がともに楽しみ、親同士及び様々な子育て支援関係者の交流及び連携を図り、安心して子どもを産み、育てることができる地域社会の実現と、地域全体で子育てを支援する意識の醸成を図る。	子ども課	354万4千円	

6

基本政策	基本施策	番号	区分	事業名	事業概要	所属課	予算額
心豊かでたくましい子どもを育むまちをつくれます	子どもの教育環境の充実	14	継続	学校支援地域本部事業	学校支援地域本部実行委員会に事業を委託し、各中学校区学校支援地域本部が中心となり、学校・家庭・地域が一体となって学校の教育活動を支援する活動の充実を図る。	地域教育文化課	280万3千円
		15	継続	適応指導教室運営事業	教育センターに設置している適応指導教室において、不登校児童・生徒の集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的生活習慣の改善等のための相談・適応指導（学習指導を含む）を行う。	学校教育課	657万8千円
		16	継続	スクールアドバイザー配置事業	学校教育に造詣が深い校長経験者3名をスクールアドバイザーとして、学校教育課に配置し、児童・生徒の問題行動等に対する保護者、市民、学校からの教育相談に対応する。	学校教育課	863万円
		17	新規	子ども悩み相談サポート事業	門真市教育センター内に子どもサポートチームを配置し、児童・生徒やその保護者等からの悩みの相談に応じるとともに、学校と連携し、ケース会議を開き、対応することにより、不登校・暴力行為等の問題行動の課題解決を図る。	学校教育課	527万5千円
	子どもの教育環境の充実	18	新規	門真市家庭教育支援（つながるハート）事業	家庭教育支援相談員を配置し、青少年やその保護者等からの相談に応じるとともに、ひきこもり傾向等、孤立しがちな家庭に対しては相談員が訪問し、その家庭を支援する。	地域教育文化課	142万8千円
	青少年の健全育成	19	継続	少年補導活動ネットワーク事業	既存の青少年育成団体や少年非行防止に関する団体（青少年指導員・青少年育成協議会・スクールガードリーダー・生徒指導担当者会・門真市小中生活指導研究協議会・PTA・警察・子ども家庭センター・少年サポートセンター・教育委員会）をコーディネートし、連携・協働体制の構築を図る。	地域教育文化課	2万6千円

基本政策	基本施策	番号	区分	事業名	事業概要	所属課	予算額
心豊かでたくましい子どもを育むまちをつくれます	児童・生徒の確かな学力の育成	20	拡充	学力向上支援加配事業（拡充）	授業研究や生徒指導の課題解決等を通して、学力向上に積極的に取り組む小・中学校に対して、人的支援を実施する。	学校教育課	4,213万9千円
		21	継続	学力調査推進事業	小学校5年生の段階で本調査を実施して、児童の学力を把握・分析することにより、これまでの取組の成果と課題を明らかにするとともに、児童の課題解決に向けた教育指導を改善し、小学校修了までに確かな学力の向上を図る。	学校教育課	77万3千円
		22	新規	きめ細かな指導を実現する35人学級事業	現在、国と大阪府の施策として小学校1、2年生で実施している35人学級を拡充し、児童・生徒一人ひとりに行き届いた教育によって、より確かな学力の定着をめざす。26年度からの実施に向け、25年度は制度設計を行う。	学校教育課	4千円
		23	継続	かどま学びの広場（かどナビ）事業	児童の学習習慣の定着と学力の向上を図るため、放課後及び土曜日の小学校内に大学生や地域ボランティア等のサポートによる自習室を開設する。	地域教育文化課	1,173万1千円
	創造性や社会性を育む学校教育の推進	24	新規	学校司書配置事業	専任の学校司書を、モデル校としての小学校2校、中学校2校に配置するため、小学校、中学校にそれぞれ1名を配置する。（司書1名が2校を担当） 学校の司書教諭等と連携して、図書・資料の貸出・返却、簡易レファレンス、読み聞かせ（小学校）、配架などを行う。	学校教育課	196万3千円
		25	継続	AET派遣事業	児童・生徒の英語力・コミュニケーション能力を高めるためAET（外国人英語指導助手）が小・中学校で授業を行う。	学校教育課	2,801万7千円
	学校施設の充実	26	継続	「使える英語」プロジェクト事業	英語学習で学んだ表現等を実際に活用する時間を設け、その指導方法について実践的な研究を行う。	学校教育課	213万4千円
		27	継続	小学校施設整備事業（小学校大規模改造事業）	五月田小学校において、工事を実施するため、設計業務を行う。	教育総務課	6,100万6千円
		28	新規	中学校施設整備事業（中学校大規模改造事業）	第五中学校において、工事を実施するため、設計業務を行う。	教育総務課	2,565万2千円

【事業概要】

現在、国と大阪府の施策として小学校1、2年生で実施している35人学級を拡充し、児童・生徒一人ひとりに行き届いた教育によって、より確かな学力の定着をめざす。26年度からの実施に向け、25年度は制度設計を行う

**総事業費
4千円**



【事業概要】

専任の学校司書を、モデル校としての小学校2校、中学校2校に配置するため、小学校、中学校にそれぞれ1名を配置する。（司書1名が2校を担当）

学校の司書教諭等と連携して、図書・資料の貸出・返却、簡易レファレンス、読み聞かせ（小学校）、配架などを行う。

総事業費
1,963千円



学校司書配置事業



基本政策	基本施策	番号	区分	事業名	事業概要	所属課	予算額
安全で安心な暮らしを育む明るいまちをつくれます	防犯対策	1	継続	センサー付き防犯灯整備事業	人を検知して明るさが増すセンサー付き防犯灯を市内各地域に設置することで、犯罪の抑止をはじめとした、市内の安全・安心なまちづくりに努める。	地域活動課	239万1千円
		2	継続	防犯カメラ設置補助事業	自治会が設置する防犯カメラ等の設置費に対して1／2の補助金を交付する。	地域活動課	468万8千円
		3	新規	防犯灯LED化補助事業	自治会が実施する防犯灯のLED化事業に対して2／3の補助金制度を創設する。	地域活動課	300万円
	交通安全対策	4	継続	交通安全施設整備補助事業	交通事故を減らし、道路を安全に安心して通行できるよう、道路交通安全施設等の整備を行う。	土木課	2,399万3千円
	消費生活対策	5	新規	消費生活センター窓口高度化事業	大阪弁護士会と顧問弁護士契約を締結し、消費者相談において専門的な見地からの助言を得ることにより、消費者被害等の早期救済・解決を図る。	地域活動課	63万円
		6	継続	消費生活相談員レベルアップ事業	消費者相談に従事する相談員が高度な専門知識を習得するための研修に参加し、相談能力のレベルアップを図る。	地域活動課	16万1千円
	危機管理と災害時対策	7	継続	防災対策事業（地域防災計画の改訂）	国による、東日本大震災や南海トラフの巨大地震の被害想定公表及び大阪府の地域防災計画改訂を受け、門真市地域防災計画の全面改訂を行う。	危機管理課	0千円
	市民の自主防災の強化	8	継続	自主防災組織リーダー育成事業	地域における自主防災活動の中心となる人材を育成するため、消防団員の防災士資格取得を行う。	危機管理課	124万8千円
	地震や治水対策の強化	9	継続	建築物診断・改修補助事業	地震時の被害を軽減する為、耐震診断等の補助制度により支援を行い、耐震化の促進を図る。	建築指導課	357万9千円

基本政策	基本施策	番号	区分	事業名	事業概要	所属課	予算額
便利で快適なまちなかをつくりま す	まちの顔づくり 	10	継続	新橋町第2地区整備事業	門真市駅周辺を市の玄関口にふさわしい魅力あるものとするため、新橋町第2地区整備事業を実施する。	まちづくり課	316万7千円
		11	継続	小路中第1地区整備事業	小路中第1地区の密集市街地の改善を行うことで、北部地域の災害に強いまちづくりの実現を図る。	まちづくり課	1億1,043万5千円
		12	継続	石原東・大倉西地区整備事業	石原東・大倉西地区の密集市街地の改善を行うことにより、北部地域の災害に強いまちづくりの実現を図る。	まちづくり課	1億7,713万1千円
		13	継続	本町地区整備事業	本町地区の再整備を行うことにより、北部地域の災害に強いまちづくりの実現を図る。	まちづくり課	2,534万4千円
		14	継続	中町地区整備事業	市民の貴重な財産である市の土地を最大限に有効活用しながら、市民誰もが誇りに思えるまちづくりの実現を図るため、中町地区整備事業を実施する。	まちづくり課	12億1,728万6千円
		15	継続	幸福町・垣内町地区整備事業	市民の貴重な財産である市の土地を最大限に有効活用しながら市民の誰もが誇りに思えるまちづくりの実現を図るため、幸福町・垣内町地区整備事業を実施する。	まちづくり課	6億1,642万円
		16	継続	大和田駅周辺地区整備事業	大和田駅前広場の整備によりターミナル機能の向上及び大和田駅への幹線道路を拡充し、併せて駅周辺の密集市街地を改善するため、大和田駅周辺地区整備事業を実施する。	まちづくり課	563万1千円
		17	継続	北島地区土地区画整理事業	第二京阪道路沿道における無秩序な開発を抑制するとともに、本市中部整備ゾーン地域の新たな賑わいの拠点をめざし、周辺地域の調和を図りつつ良好な都市基盤を行い、健全な市街地形成を図る。	まちづくり課	465万5千円

基本政策	基本施策	番号	区分	事業名	事業概要	所属課	予算額
便利で快適なまちなかをつくりま す	快適に暮ら せる生活基 盤の整備	18	継続	水道管布設及び布設替事業	安定した水道の供給を実施するため、市内各所における更新業務を行う。	工務課	3億1,064万1千円
		19	新規	浄・配水場耐震化事業	安定した水道の供給を実施するため、配水施設の耐震化業務を行う。 25年度は上馬伏配水場の実施設計を行う。	工務課	2,625万円
		20	継続	水路敷有効活用事業	水路敷を有効利用することで、歩行者・自転車道路を整備し、通行の安全性や利便性の向上を図る。	土木課	1億1,815万2千円
		21	継続	公共下水道整備事業	公共下水道を計画的に整備する。	公共 下水道課	20億8,000万円
		22	継続	下水道長寿命化計画策定事業	下水道施設の健全度に関する点検調査を行い、長寿命化対策に係る計画を策定する。	公共 下水道課	3,459万6千円
		23	新規	希釈放流施設整備検討事業	し尿の「希釈放流施設」の設置の可能性等を検証し、適正な、し尿処理体制及び浄化センターのあり方等について検討を行う。	環境 政策課	0千円

13

基本政策	基本施策	番号	区分	事業名	事業概要	所属課	予算額
便利で快適なまちなかをつくりまします	道路・交通網の充実	24	継続	道路維持管理事業	市民が安全で安心して快適に通行できるような道路空間を提供するため、老朽化した道路の舗装の打ち換え等の改修を行い、適切な維持管理を実施する。	土木課	8,885万2千円
		25	継続	道路整備事業	市民が安全で安心して快適に通行できるような道路空間を提供するため、生活道路を中心に公共空間を有効利用し、道路の再整備や改良を行う。 25年度は桑才市営住宅跡地内の道路の整備を実施する。	土木課	848万1千円
		26	継続	橋りょう長寿命化点検・修繕事業 (旧橋りょう長寿命化修繕計画策定事業)	橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、修繕計画を策定する。	土木課	0千円
		27	継続	コミュニティバス運行補助事業	平成23年12月より運行を開始したコミュニティバス運行事業者に対して、補助金を交付する。	まちづくり課	3,000万円
		28	継続	バスカード購入補助事業	65歳以上かつ非課税者を対象に、ふれあい巡回バスルート再編による激変緩和措置として、コミュニティバスに利用できるバスカード2,000円券の購入補助（補助額1,000円）を行う。	高齢福祉課	866万2千円

基本政策	基本施策	番号	区分	事業名	事業概要	所属課	予算額
便利で快適なまちなかをつくりま す	計画的なまちづくり	29	継続	住居表示整備事業	市民生活の利便性を図るため、25年度より第15次住居表示整備事業として、大字三ツ島東部地区の住居表示を実施し、26年度に完了予定とする。	まちづくり課	756万3千円
	住宅・住環境の整備	30	継続	住宅・建築物アスベスト飛散防止対策事業	建築物の安全性の確保の推進及びアスベストによる被害の未然防止を図るため、民間建築物のアスベスト分析調査や除去等の工事に対して支援を行う。	建築指導課	850万円
		31	継続	木造住宅等建て替え促進事業	建て替えへの誘導、促進により建築物の安全性の確保を図る為、建築物を除却する工事に対して支援する制度を整備し、許認可等の運用改善を行う。	建築指導課	4千円
		32	継続	危険廃屋除却事業（事業内容の拡充）	崩壊の危険性がある建築物の除却工事に対する補助制度により、建築物の安全確保の推進を行う。また、先進した取り組みを行っている市町村の事例調査、門真市域内の危険老朽家屋の今後の問題点を調査研究する。	建築指導課	726万8千円

15

【事業概要】

自治会が実施する防犯灯のLED化事業
に対して2/3の補助金制度を創設する。

総事業費 3,000千円

安全・安心で快適に
暮らせる明るいまちに

(従来の通常防犯灯)



LED化



LED灯は従
来の水銀灯に
比べて3.3倍
の長寿命

防犯灯LED化
補助事業



(夜のイメージ)

門真市と大阪府内の街頭犯罪認知件数(大阪府警HPより)

事由	門真市				大阪府内			
	H23	H24	差額	増減率	H23	H24	差額	増減率
路上強盗	5	9	4	80.0	210	284	74	35.2
自動車盗	68	46	△ 22	△ 32.4	1,999	2,349	350	17.5
オートバイ盗	169	158	△ 11	△ 6.5	8,706	7,648	△ 1,058	△ 12.2
自転車盗	350	368	18	5.1	33,066	30,191	△ 2,875	△ 8.7
ひったくり	65	25	△ 40	△ 61.5	1,761	1,687	△ 74	△ 4.2
車上ねらい	226	171	△ 55	△ 24.3	12,623	13,910	1,287	10.2
部品ねらい	283	138	△ 145	△ 51.2	9,930	8,497	△ 1,433	△ 14.4
自販機ねらい	33	26	△ 7	△ 21.2	1,471	1,409	△ 62	△ 4.2
合計	1,199	941	△ 258	△ 21.5	69,766	65,975	△ 3,791	△ 5.4

【事業概要】

市民の貴重な財産である市の土地を最大限に有効活用しながら、市民誰もが誇りに思えるまちづくりの実現を図るため、中町地区整備事業を実施する。

総事業費 1,217,286千円



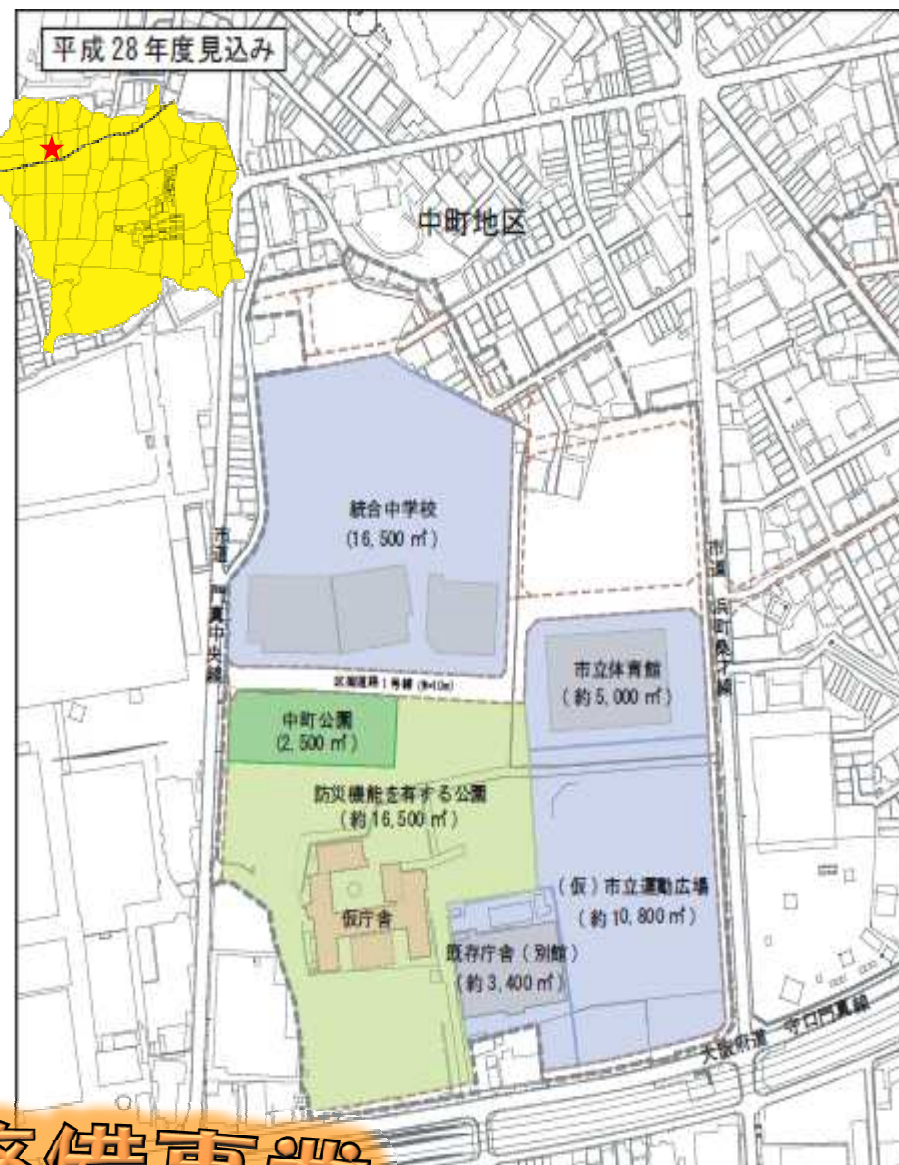
仮庁舎（旧第六中学校）



門真はすはな中学校



防災機能を持った公園



中町地区整備事業

実際の整備後はイメージと異なります。

基本政策	基本施策	番号	区分	事業名	事業概要	所属課	予算額
ワクワクする人や出会いを育む文化のまちをつくります	生涯学習環境の充実	1	継続	生涯学習推進基本計画策定事業	生涯学習環境の充実を図るため、いつでもだれでも学ぶことが出来る生涯学習のビジョンを示す計画を策定する。	地域教育文化課	305万4千円
		2	継続	めざせ世界へはばたけ事業	門真市と世界を舞台に活躍するグローバルな人材を育成するため、英語プレゼンテーションコンテストを開催するとともに、中学生海外派遣研修を実施する	地域教育文化課	479万4千円
		3	継続	子ども英会話講座運営事業	学校教育外においても英語を学ぶことが出来る環境を整備するため、社会教育施設等（生涯学習センターや公民館など）において英語講座を実施する。	地域教育文化課	127万8千円
		4	継続	市民プラザ運営事業（大規模改修）	門真市民プラザが生涯学習推進のための拠点施設として機能するように、安全、安心かつ快適に利用できる環境を維持するため、施設を改修する。	地域教育文化課	5,305万2千円
		5	継続	市民プラザ運営事業	さまざまな分野における市民の自律的な生涯学習活動を促進するため、生涯学習推進のための拠点施設である、市民プラザを、25年度より指定管理による管理運営を行う。	地域教育文化課	5,775万6千円
		6	継続	（仮称）門真市立生涯学習複合施設建設事業	地域とともにコミュニティを育む、文化・学習の交流拠点をつくるため、図書館機能と文化会館機能を併せ持つ（仮称）門真市立生涯学習複合施設の開設に向け、調査研究をする。	地域教育文化課	6万7千円

基本政策	基本施策	番号	区分	事業名	事業概要	所属課	予算額
ワクワクする人や出会いを育む文化のまちをつくります	市民スポーツの振興	7	新規	テニスコート・青少年運動広場運営管理事業	市民の利用に供するため、施設の改善を図る。	スポーツ振興課	582万8千円
		8	新規	(仮称) 門真市立総合体育館建設事業	誰もが身近に利用しやすい生涯スポーツ推進拠点をつくるため、(仮称) 門真市立総合体育館を平成28年度内に開設する。	スポーツ振興課	4,401万円
	市民生活に息づく文化・芸術の振興	9	新規	市民文化会館改修計画策定事業	将来に亘って、安定的な市民の文化芸術の振興を図るため、ライフサイクルコストの観点から、施設の外壁・配管・空調設備等の老朽化の進行状況等について大規模な調査を実施する。	地域教育文化課	1,695万8千円
		10	継続	音楽と活気のあふれるまちづくり推進事業	門真市民が音楽等を楽しむ機会を増やし、市民であることの誇りを育むことのできる環境を整えるとともに、ルミエールホールにおいて公募市民等による大合唱や茨田堤をテーマにした影絵を実施する。	地域教育文化課	328万7千円
	地域文化の保存と継承	11	継続	門真市地域伝統文化まつり事業	市内で受け継がれているだんじりが市の中央で一斉に巡行するとともに、賑やかで心躍る鉦や太鼓、舞などを披露する地域伝統文化まつりを、祭りを愛する市民自らが地域を超えて手を取り合うことにより開催する。	地域教育文化課	977万8千円
		12	継続	歴史遺産整備事業	郷土の歴史遺産を後世に伝えるため、大阪府指定史跡「伝茨田堤」をはじめとする、市内歴史遺産に説明板を設置する。また茨田堤や旧街道・薫蓋クス等の資料収集及び調査研究をし、その成果をまとめたCGを制作し、歴史資料館等市民の集まるスペースに上映ブースを設置する。	地域教育文化課	603万7千円

【事業概要】

市内で受け継がれているだんじりが市の中央で一斉に巡行するとともに、賑やかで心躍る鉦や太鼓、舞などを披露する地域伝統文化まつりを、祭りを愛する市民自らが地域を超えて手を取り合うことにより開催する。

**総事業費
9,778千円**



市内のだんじりが一堂に集結 地域伝統文化まつり



門真市地域伝統文化まつり事業

11月3日、市民プラザに市内のだんじりなどが一堂に集まった初めての試みに、たくさんの観客が訪れました。

市民プラザまでだんじりを曳行し、各地域だんじりの太鼓・鉦を披露。訪れた10代女性は「自分の住んでいるだんじりしか見たことがなかったから、ほかの地域のだんじりを見れてめっちゃ楽しかった。来年もやってほしい」と話していました。



ゆるキャラも大集合

祭



たくましい担ぎ手たち



最後は盛大に餅まき

本事業は、まぐじの社会貢献広報事業として助成を受けたものです。

平成24年12月号 広報かどま12面より抜粋

基本政策	基本施策	番号	区分	事業名	事業概要	所属課	予算額
みんなで 困っている 人を助け合 う福祉のま ちをつくり ます	地域福祉の推 進	1	新規	地域福祉計画進行 管理事業	平成24年3月に策定した門真市第2期地域福祉計画のより効果的な推進を行うため、「門真市地域福祉推進協議会」を設置し、本計画の進捗状況についての議論並びに本計画推進に必要な取り組みについて検討する場とする。	福祉 政策課	43万6千円
	社会保障制度 の適正な運営	2	新規	保険料収納推進事 業（口座振替契約 受付サービス事 業）	被保険者の口座振替世帯の拡充を図るために、マルチペイメントネットワークを利用した口座加入手続の簡素化（取引と同時に契約成立するため、自動引落とし開始までの時間短縮）により利用者の利便性を上げる。	保険 収納課	501万9千円
		3	継続	禁煙外来受診費用 助成事業（禁煙サ ポート事業）	禁煙を要する被保険者に対し、禁煙外来の自己負担分の費用の内、半額を助成（上限1万円）する。禁煙を推奨することにより、将来の疾病予防、健康保持増進を図る。	保険 年金課	36万4千円
	障がい者 （児）福祉の 充実	4	新規	さつき園・くすの き園運営事業 （門真市立こども 発達支援センター 整備事業）	さつき園・くすのき園の老朽化に伴い、市民プラザに移転して、療育や機能訓練を行うための施設整備を行う。また、現在の通所機能に加え、地域の障がい児への支援機能も併せ持つ、「門真市立こども発達支援センター」として、26年度の開設に向けた施設整備を行う。	福祉 政策課	5億1,194万3千円
		5	継続	さつき園・くすの き園運営事業 （発達障がい児療 育事業）	発達障がい児に対する個別専門療育を、自閉症療育センター「Link」（枚方市）において、児童の発達状況、保護者の状況に応じた療育プログラムにより提供する。	福祉 政策課	154万1千円
		6	新規	さつき園・くすの き園運営事業 （発達障がい児を 持つ保護者支援事 業）	さつき園くすのき園在園児及び市在住の発達障がい児を持つ保護者に対して、子どもの特性に対する理解を深めることができるよう支援をしていく。また、適切なペアレントトレーニングが実施できるよう、園職員を対象に養成講座を実施する。	さつき園	230万3千円
		7	継続	さつき園・くすの き園運営事業 （作業療法等訓練 の拡充）	さつき園児に対して、作業療法士、言語聴覚士による訓練機会の拡充を図る。	さつき園	216万円
		8	継続	重度障がい者訪問 看護利用料助成事 業（対象者の拡 充）	重度障がい者の在宅療養を支援するため、訪問看護ステーションを利用する重度障がい者に対し、利用料の2割を助成する。	障がい 福祉課	441万6千円
							21

基本政策	基本施策	番号	区分	事業名	事業概要	所属課	予算額
みんなで 困っている 人を助け合 う福祉のま ちをつくり ます	障がい者 (児)福祉 の充実	9	継続	小児慢性特定疾患児日常生活 用具給付事業	小児慢性疾患特定疾患児が必要とする用具 を給付し、その用具の購入費用の一部を市 が助成することで、本人もしくは家族の負 担の軽減を図る。	障がい福祉課	18万6千円
		10	継続	難聴児特別補聴器購入費助成 事業	身体障害者手帳交付に該当しない聴力レベ ルの難聴児に対して、補聴器の購入基準額 の3分の2を助成する。	障がい福祉課	7万4千円
		11	継続	障がい者虐待防止事業	本市における障がい者虐待の防止、早期発 見による被害拡大の防止を図るため、「障 がい者虐待防止センター」の機能を有する 相談窓口にて、支援体制の充実及び関係機 関等との連携を図る。	障がい福祉課	142万6千円
		12	新規	発達障がい児支援体制整備サ ポート事業	発達障がい児への支援に関する経験及び知 識を有する臨床心理士等を「サポートコー チ」として配置し、体制検討にかかる指導 的助言及び施策提言を受けながら、本市に おける発達障がい児への支援体制の検討整 備を行う。	福祉政策課	340万4千円

22

基本政策	基本施策	番号	区分	事業名	事業概要	所属課	予算額
みんなで 困っている 人を助け合 う福祉のま ちをつくり ます	生活保障と自 立支援対策	13	拡充	生活保護適正化推 進事業 (適正化推進支援 員の増員)	生活保護制度の厳正な運用を図るため、市民からの情報提供 を積極的に活用するとともに、自立阻害要因の解消、不正受 給の把握等を実施する適正化推進支援員を配置する。25年 度より適正化推進支援員の増員と(仮称)生活保護情報専用 ダイヤルの開設を行う。	保護課	1,579万1千円
		14	継続	就労支援等事業 (就労支援員の増 員)	働くことができる生活保護受給者に対する就労を促進するた め、専門員による就労相談や職業紹介・就職活動・離職防止 までの総合的な支援を行う。	保護課	2,492万2千円
		15	継続	年金調査事業	被保護者の年金受給資格の確認や調査等を実施する年金調査 員を配置する。	保護課	599万4千円
		16	継続	子どもの健全育成 事業(育成相談員 の増員)	子どもの育成支援・福祉等に関する専門的知識及び経験を有 する専門員を配置して、子どもの健全育成等に関する支援及 び指導を実施し、母子世帯等の生活環境の改善・自立助長の 促進を図る。	保護課	1,650万3千円
		17	継続	扶養義務調査充実 事業	重点的扶養能力調査対象者をはじめ扶養義務の履行を徹底す るため、扶養義務調査員を配置する。	保護課	319万6千円
		18	継続	債権管理適正化事 業	未収金の回収、不能欠損の抑制を図るため、督促状や催告状 を発送し、債権管理システムを活用した債権管理を徹底する 体制整備を行う。	保護課	148万円
		19	継続	健康管理支援事業	被保護者の健康を保持し、医療費の削減を図るため、日常生 活の健康管理等が困難な被保護者に対し健康指導や相談を行 う。	保護課	416万1千円
		20	継続	就労意欲喚起支援 事業(就労支援相 談員の増員)	働くための生活習慣の改善や生活能力と就労能力の向上のた め、訓練や就労活動支援を行う就労意欲喚起キャリアカウ ンセラーを配置し、就労意欲の乏しい生活保護受給者の就労意 欲の喚起等を行い、就労意欲の醸成を図る。	保護課	2,490万円
		21	継続	生活保護受給者権 利擁護支援事業	認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者等の判断能力 が不十分な生活保護受給者が、地域において安定した日常生 活を営めるよう、訪問等による生活保護への支援を行う。	福祉 政策課	711万1千円

基本政策	基本施策	番号	区分	事業名	事業概要	所属課	予算額
みんなの健やかな心と体を育む健康のまちをつくります	生涯を通じた健康づくり	22	新規	保健福祉センター運営事業（保健福祉センター外壁剥離防止工事）	保健福祉センターにおいて、外壁診断調査結果に基づき、4年間の年次計画により、外壁剥離改修工事を行う。	健康増進課	1,446万9千円
		23	継続	「歩こうよ・歩こうね」運動事業	60歳以上の高齢者を対象に、各自の体力に合わせた目標時間の設定を行い、いつでも、どこでも、好きな時間と場所を利用し手軽に取り組める「歩こうよ・歩こうね」運動を実施する。 年間4タームあり、各ターム毎に目標設定して、達成者に表彰及び副賞を贈呈する。	高齢福祉課	121万5千円
	病気の予防対策の充実	24	継続	特定保健指導事業（受診勧奨値者への訪問指導事業）	特定健診の結果から、特定保健指導に該当しなかった人で、血圧・血糖などの数値が高く、医療の必要な状態の人に対し、受診勧奨電話および必要に応じて訪問指導をする。	保険年金課	101万4千円
		25	新規	予防接種事業（予防接種費給付）	他市で定期予防接種を受けた際の実費負担金を還付し、接種の促進を図る。	健康増進課	105万8千円
		26	新規	予防接種事業（個別案内通知の拡充）	予防接種のうち、2種混合、日本脳炎の対象者に個別通知を行い、接種の期日又は期間及び場所等の周知を図る。	健康増進課	6万3千円
		27	継続	予防接種事業（麻疹風しん混合予防接種2期接種率向上並びに接種期限延長事業）	麻疹の蔓延防止のために未接種者に対して接種勧奨を行うとともに、接種率向上のために未接種者に対して個別通知を行い、接種期間を延長し接種費用の負担を軽減する	健康増進課	31万4千円
		28	継続	予防接種事業（子宮頸がん等ワクチン接種）	感染予防に有効である任意の予防接種のうち子宮頸がんワクチン・ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン接種に対する公費助成を行い、接種の周知を図る。	健康増進課	1億2,822万円

基本政策	基本施策	番号	区分	事業名	事業概要	所属課	予算額
人や環境にやさしい美しいまちをつくります	環境保全対策	1	継続	「もったいない」普及事業	3 R（ごみの減量、再利用、再資源化）など、地球環境を意識した生活様式の浸透を図るため、「もったいない」を意識した行動を体験していただく機会として、リサイクルプラザにおいて、ものをメンテナンスして大切に使うことを学んでいただく講座などを開催する。	環境政策課	5万5千円
	うるおいづくり	2	新規	親水空間整備事業	「門真市水路整備全体計画」に基づき、今ある水路をできる限り活かし、修景に配慮した護岸改修を行い、子どもたちの遊びの場や市民の憩いと安らぎを与える親水空間の整備を行う。25年度は門真第9水路について、流水・遊水機能を確保した親水空間を創出する、護岸改修に向けた調査、設計及び地元調整を実施する。	土木課	1,001万1千円
	公園・緑地ネットワークの充実	3	継続	公園維持管理事業（公園砂場の柵設置事業）	公園児童遊園内の砂場について犬・猫の糞尿から幼児・児童を守るため、犬・猫が砂場に侵入しないよう、砂場の外周に柵を設置する。	土木課	280万8千円
		4	継続	公園等環境美化推進事業	門真市内の公園及び緑地・緑道の除草、ゴミ・枯れ葉の清掃を年間を通じて実施し、良好な公園緑地環境を維持する。	土木課	224万8千円
		5	新規	公園整備事業	「門真市緑の基本計画」に基づき、市民に身近で親しまれ、オープンスペースとしても活用でき、緑化の推進にも資する都市公園の整備を進める。	土木課	6,854万3千円

25

基本政策	基本施策	番号	区分	事業名	事業概要	所属課	予算額
いきいきとしたまちを育む産業をつくります	多様なビジネスの育成	6	継続	メイドイン門真補助事業	市内の商店街・市場・企業等の連合組織、カドマイスター認定企業が、新たな製品の製造及び、販路拡大等、「門真発の商品・サービスづくり」を支援する仕組みを構築する。	産業振興課	1万4千円
	既存産業を活かした産業活性化環境の形成	7	継続	商業振興補助事業	市内の商業者等が経営の合理化、近代化、活性化、共同施設の整備等、商業振興のために実施する共同事業に対し、その事業費の一部を補助する。	産業振興課	550万6千円
		8	継続	企業操業支援補助事業	住工混在問題の解決策として、騒音対策等を行う事業者に補助を行い操業環境の確保を図る。	産業振興課	600万4千円
		9	継続	カドマイスターを採せ！事業	市内で、卓越した技術力を持つ企業やオンリーワンの製品を持つ企業などの特徴ある企業をカドマイスターに認定する。	産業振興課	18万2千円
		10	継続	中小企業サポートセンター運営事業	平成24年10月1日に設立した中小企業サポートセンターにおいて、専門技能を備えたアドバイザーにより、市内企業への訪問や販路開拓、経営革新、製品開発、研究・技術開発、人材育成・確保などの相談に応じ、市内企業の産業活動の底上げを図る。	産業振興課	1,511万8千円
		11	継続	ものづくり企業展示場出展補助事業	「ものづくり企業」が、MOBIO（ものづくりビジネスセンター大阪）内の「常設展示場」へ出展する出展料の1/2を出展月から2年以内で補助する。	産業振興課	130万6千円
		12	継続	ものづくりネットワーク事業	市内で、産業の振興に意欲的に取り組む企業及びそれらを支援している金融機関や学識経験者などの組織化を図り、より効果的なニーズに合った産業振興の方策を検討していくとともに、企業間連携が活発化することにより、新たな製品開発や産業分野に挑戦する企業の創出につなげていく。	産業振興課	22万8千円
		13	継続	市民農園運営事業	市民が土に親しみ、生活に潤いをもたらす場の提供を図るため、柳田農園、野口農園、岸和田農園の3園を運営する、市民農園運営委員会に対して補助金を交付する。	産業振興課	58万7千円
		14	継続	門真市農業まつり補助事業	市内農業の振興を図るため、門真市農業まつり実行委員会が行う門真市農業まつりに対して補助を行う。	産業振興課	50万円

【事業概要】

「門真市水路整備全体計画」に基づき、今ある水路をできる限り活かし、修景に配慮した護岸改修を行い、子どもたちの遊びの場や市民の憩いと安らぎを与える親水空間の整備を行う。25年度は門真第9水路について、流水・遊水機能を確保した親水空間を創出する、護岸改修に向けた調査、設計及び地元調整を実施する。

Before (現況アップ)



親水空間整備事業



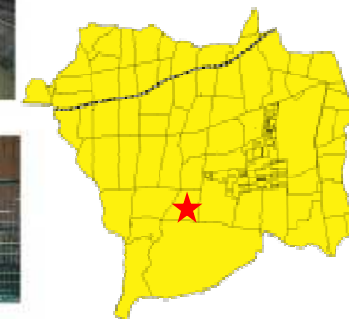
総事業費 10,011千円

Before

レンコン畑やヒナダ、旧集落などが見られる地域である。



(門真第九水路付近)



After

レンコン畑やヒナダ、路地、など旧集落の面影を取り入れた和風的な水路整備を考える。
和風地域にマッチするフナや鯉などが棲息出来る水路も考える。



整備イメージ写真



和風造りのイメージ (大和郡山市)

鯉のある水路 (津和野)

※門真市水路整備全体計画より抜粋。実際の整備後はイメージと異なります。

【事業概要】

平成24年10月1日に設立した中小企業サポートセンターにおいて、専門技能を備えたアドバイザーにより、市内企業への訪問や販路開拓、経営革新、製品開発、研究・技術開発、人材育成・確保などの相談に応じ、市内企業の産業活動の底上げを図る。

総事業費 15,118千円

ものづくり企業支援が地域を活性化



元気なものづくり企業をつくる

門真市中小企業サポートセンター

開館日 月曜日～金曜日 開館時間 午前11時～午後7時

販路開拓支援、技術・人材育成支援など 16人のアドバイザーが全力でサポート

私たちアドバイザーは、企業OBの技術・経験・ノウハウを基にクラスター（チーム制）を組織し、企業が抱えるあらゆる問題解決に支援してきました。このたび、「門真市中小企業サポートセンター」の運営に携わることとなりましたが、企業の成長を願い、経営者の皆さんと苦楽を共にできることの喜びを感じております。支援活動に参画するアドバイザーは、日本のものづくりを代表する先端

企業各分野のエキスパートや技術系大学の先生など16人ですが、ほかにも弁理士や企業診断管理士・デザイン関係者も有しておりますので、書類の作成から技術・経営にわたる幅広い相談業務に応じられる体制となっています。「サポートセンター」は、3人の常駐体制で取り組むことにしていますので、気軽にお越しください。

センター長 佐藤伸吾



問合せ先

- 門真市中小企業サポートセンター
☎06(6995)4068
- 産業振興課
☎06(6902)5966



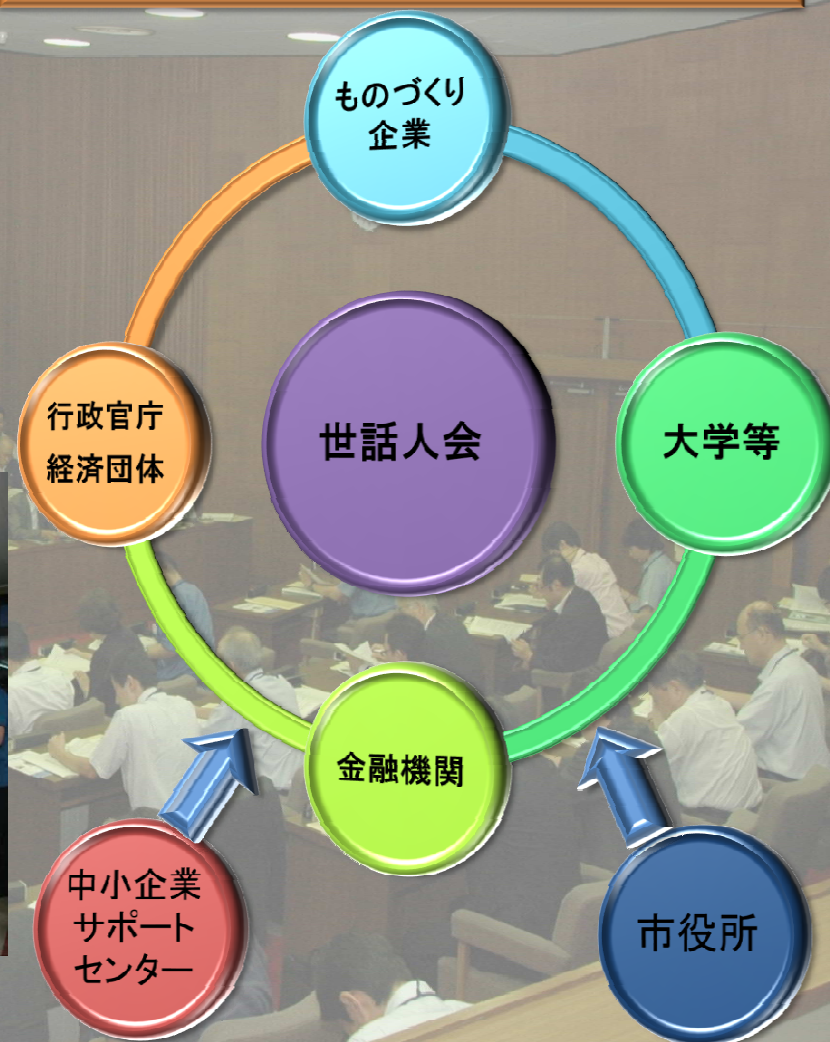
中小企業サポートセンター運営事業

【事業概要】

市内で、産業の振興に意欲的に取り組む企業及びそれらを支援している金融機関や学識経験者などの組織化を図り、より効果的なニーズに合った産業振興の方策を検討していくとともに、企業間連携が活発化することにより、新たな製品開発や産業分野に挑戦する企業の創出につなげていく。

総事業費 228千円

さらなる産業振興へ



ものづくりネットワーク事業



番号	区分	事業名	事業概要	所属課	予算額
 1	新規	原動機付自転車新課税標識（オリジナルナンバープレート）導入事業	門真市イメージキャラクター「ガラスケ」がデザインされた原動機付自転車のナンバープレートを導入する。	課税課	62万9千円
2	新規	庁舎別館冷暖房設備更新事業	庁舎別館の冷暖房設備の老朽化により、空調設備の改修をし、庁内環境の整備を行う。	管財課	1億6,283万6千円
3	継続	市役所庁舎等整備事業（仮庁舎への移転）	新庁舎建設までの中期的な仮庁舎とするため、庁舎本館、第2別館等の機能を旧第六中学校へ移転する。	管財課	1億7,185万円
4	継続	環境基本計画策定事業	環境の保全及び創造について基本理念を定めるために（仮称）門真市環境基本条例を策定する。また、環境に係る施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、（仮称）門真市環境基本計画を策定する。	環境 対策課	251万9千円
5	新規	（仮称）門真市まちづくり条例制定検討事業	総合計画の基本政策に掲げる「便利で快適なまちなか」の創出を図るため、計画的なまちづくりの基本理念や市の特性を活かしたまちづくりに関する条例について、引き続き、調査・研究を行う。	まちづくり課	5万7千円
					30

番号	区分	事業名	事業概要	所属課	予算額
6	新規	用排水路・一般下水道及び都市下水路維持管理事業（下馬伏揚水機場電気設備改修事業）	地元水利組合により運転管理が行われている下馬伏揚水機場（北巢本町地内）を、安定した維持管理のために自動化を図る。	土木課	86万1千円
7	継続	 イメージキャラクター活用事業	平成24年8月1日に門真市イメージキャラクター「ガラスケ」を決定した。これから市民に浸透させ、市民に親しまれ、市内外にも発信して市をアピールしながら、市にイメージアップを図るため「ガラスケ」の活用を行う。	産業振興課	273万7千円
8	継続	学校施設営繕事業（小・中学校開錠）	各小・中学校の朝の開錠を委託化により実施。	教育総務課	263万4千円
9	継続	教職員の障害防止対策事業	労働安全衛生法に基づき、長時間にわたる時間外・休日勤務により、健康に悪影響が及ぶことが懸念されるため、健康管理対策として、門真市立学校府費負担教職員を対象に、門真市教育委員会が指定した医師による面接指導をする。	教育総務課	63万円
10	新規	議会史発行事業	議員の議会活動等に資するため、平成25年に市制施行50周年を迎えるに当たり、平成15年以後の10年間にわたる議会活動等の資料収集を行い、議会史「門真市議会のあゆみ（平成15年～平成25年）」を発行し、議員、職員及び図書館などの公共施設等へ提供する。	議事課	223万3千円
					31

【事業概要】

平成24年8月1日に門真市イメージキャラクター「ガラスケ」を決定した。これから市民に浸透させ、市民に親しまれ、市内外にも発信して市をアピールしながら、市にイメージアップを図るため「ガラスケ」の活用を行う。

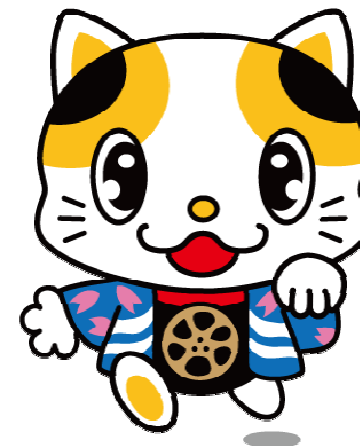
**総事業費
2,737千円**

ガラスケとは門真の民話「おすまさんと笑い猫」に登場する猫です。

物語の中で、おすまさんが客に「おおきに」というとガラスケは「ガラガラ」と愛想笑いをします。また、ガラスケは「ガラガラ」と笑い、手招きをして客を呼んだいもしており、店の福猫として評判でした。物語の中ではガラスケ人形が登場しますが、この人形が招き猫の元祖といわれています。



イメージキャラクター活用事業



平成25年度事業の概要

作成：総合政策部企画課・財政課

電話：06-6902-5572（企画課）

06-6902-5869（財政課）